

## 平成 27 年 第 2 回定例道議会報告

北海道議会議員 北 口 雄 幸

**【所属会派】** 民主党・道民連合議員会

**【会派役員】**

**【所属委員会】** 保健福祉委員長、北方領土特別委員会筆頭理事

**【党活動】** 民主党北海道副筆頭幹事長、第 6 区総支部副代表、士別ブロック支部代表

**【日 程】** 平成 27 年 6 月 16 日（火）～7 月 10 日（金）

**【一般質問】** 第 2 回定例道議会は、6 月 16 日（火）に開催、27 年度道補正予算、「飲酒運転根絶を宣言する決議」、「地方財政の充実・強化を求める意見書」などを可決し、7 月 10 日（金）に閉会した。

わが会派の代表質問には、議員会長である勝部賢志議員（江別市）が立ち、知事の政治姿勢、行財政運営、人口減少対策、エネルギー政策、TPP 交渉やロシア 200 海里水域でのサケ・マス漁、JR 日高線などについて質疑した。

また、一般質問には池端英昭議員（石狩地域）、川澄宗之介議員（小樽市）、小岩均議員（北広島市）、島山みのり議員（札幌市南区）、梶谷大志議員（札幌市清田区）、平出陽子議員（函館市）の 6 名が登壇し、当面する道政課題、地域課題について道の取り組みを質問した。

私・北口雄幸は予算特別委員長に就任、補正予算をはじめとする道の課題等について審議してきた。

**【主な審議経過】** 知事は、提案された政策補正予算に知事選での公約の多くを張り付けたとしたが、政策としての熟度が不十分で思いつきの事業、施策ばかりが目立つ予算となった。

道財政の改善は進まず、国直轄事業負担金の計上を留保しての赤字予算の編成が 9 年連続となり、すっかり恒常化した。財政状況が好転せず、道債残高が減らない理由を知事は、国の臨時財政対策債の増発等が原因としたが、知事の予算編成は、その臨時財政対策債や、国の各種の経済対策基金、交付金等でつじつま合わせをしてきた。

また、知事は、人口減少問題を最大の課題としているが、この問題は、最近、突然に発生したわけではない。知事の 3 期 12 年の道政運営等における取り組みを検証し、その反省なしには、実効性のある政策を展開することはできない。国の政策を垂れ流すのではなく、道民や自治体との協働で、各地域で実効があがる施策、事業にしていかなければならない。

安倍政権が、診療報酬の抑制、介護報酬の引き下げ等の施策を相次ぎ打ち出し、医療・福祉の維持確保も心配されている。道内でも、周産期医療の危機的な状況が加速し、地域での少子化対策の基盤が崩れかねない。また、日本創成会議の首都圏高齢者の他地域への移動促進策など、人や地域へのやさしさ、思いが欠けた施策も相次いでいる。地域で暮らし、子どもを産み育てる基盤づくりのための積極的な施策・事業の展開が求められている。

知事は、道産食品輸出 1 千億円の目標を掲げてもいるが、その基盤である、一次産業は、TPP 交渉の進展懸念や、ロシア 200 海里内サケ・マス流し網漁の終息、オホーツク海ホタテの悪天候被害等によって厳しさを増す一方だ。地域で暮らし続け、稼ぎ続け、地域の産業と産物を守るために、しっかりと地域に足を踏まえた施策、事業こそが大切だ。

「脱原発」の北海道を目指すためのエネルギー施策についての知事の姿勢は、判断も施策展開も国まかせで、「脱原発」を希求する条例を有する北海道でありながら、取り組み姿勢は極めて消極的だ。地域交通の確保についても、道民の足を守る知事の意識は希薄だ。北海道新幹線の円滑受け入れを理由にして、地域路線の合理化を言う J R 北海道の姿勢には問題がある。こうした課題に、道は財政面も含め積極的に関わり、リーダーシップを発揮すべきだ。会派は、こうした問題意識に基づく議論を展開、今後も道の対応をしっかりとチェックしていく。

補正予算は、一般会計 2,731 億円、特別会計 288 億円。平成 27 年度の道予算は、一般会計 2 兆 8,021 億円、特別会計 6,415 億円の合計 3 兆 4,436 億円となった。

### 【平成 27 年度補正予算】

単位：千円

	一般会計	特別会計	合計
当初予算額	2,529,023,857	638,630,411	3,167,654,268
今回補正額	273,103,857	2,882,199	275,986,056
合計	2,802,127,714	641,512,610	3,443,640,324

### 【可決された主な条例等】

北海道危険薬物の使用等の規制等に関する条例

### 【採択された決議・意見書】（◎は政審発議、○は委員会発議）

- ◎ T P P 協定交渉に関する決議
- ◎ ロシア連邦の 200 海里水域におけるサケ・マス流し網漁業に関する決議
- ◎ 飲酒運転根絶を宣言する決議
- ◎ 地方財政の充実・強化を求める意見書
- ◎ 改正耐震改修促進法によるホテル・旅館等大規模建築物の耐震診断結果公表の猶予を求める意見書
- 義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書
- 介護報酬の見直し等に関する意見書
- ロシア連邦 200 海里水域におけるサケ・マス流し網漁業の禁止に伴う支援を求める意見書
- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 道路の整備に関する意見書

※会派は、「憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回と関連法案の取り下げを求める意見書」を提案したが、自民会派等の反対で否決された。この意見書の提案説明は、松山丈史議員（札幌市豊平区）が行った。

### 【当面する課題と会派の対応】

#### （1）予算編成等への要望について

会派は、5 月 27 日、知事に対して、政策補正予算案の編成及び当面する道政執行に関する要望・提言を行った。要望・提言の内容は以下の通り。

#### 2015 年度 北海道政策補正予算編成及び道政執行に関する要望・提言

2015 年 5 月 27 日

#### 1. 誰もが安心して暮らし住み続けるために

##### （1）実効ある人口減少対策

- ・人口減少対策は、過去の施策の検証、反省抜きでは実効性は確保できない。少なくとも知事の 3

期 12 年間の関係施策を真摯に検証し、対策を構築すること。また、施策展開に際しては、国からの施策を垂れ流すのではなく、道民、自治体との協働で施策を組み立て、実現すること。

### **(2) 医療の再生と福祉の維持確保**

- ・診療報酬の抑制等によって、地域医療の危機再来が危惧されている。深刻な医師、看護師の不足・偏在対策にオール北海道の態勢で取り組むこと。
- ・地域で暮らす基盤である医療は極めて深刻な状況にある。広域化連携構想や道立病院改革、医師確保対策等の諸施策を不断に検証し、地域で安心して暮らし、子どもを産み育てるための最重要基盤である周産期医療等をはじめとする地域医療の再生に向けた施策の充実強化に取り組むこと。
- ・介護分野でも介護報酬の引き下げが行われ、人手不足に拍車がかかり、介護事業者の経営悪化、サービスの縮小が懸念されている。地域の声を取りまとめて国に対処するとともに地域の取り組みへの支援を強化すること。

### **(3) 教育環境の確保**

- ・きめ細かい教育の推進のため、少人数学級編制を進めること。
- ・就学支援等の子どもの貧困対策やいじめ対策を強化すること。
- ・授業料軽減補助拡大や給付型奨学金制度の積極的導入など、私学助成を充実すること。
- ・特別支援教育や情報教育等の多様な教育内容に対応した施設整備に取り組むこと。
- ・東日本大震災の検証等を踏まえた地域防災拠点としての学校耐震化や津波等からの避難路の点検整備等、地域における安全で安心な学校づくりを支援すること。

### **(4) 雇用ルールの保持**

- ・「世界で一番ビジネスがしやすい環境」を目指すとして規制緩和論議が進んでいるが、変えてはいけないルールまで見直す動きがあることは看過できない。特に雇用に関する見直しについては、働く者の犠牲を押しつけての成長戦略が、経済の好循環をもたらすことはない。働く者の命と健康を脅かしかねない労働規制緩和に反対し、長時間労働の抑制と過労死等を防ぐ施策を講じること。
- ・北海道雇用創出基本計画の推進に際しては、新規学卒者をはじめとする若年者雇用や失業が長期化する傾向にある中高年齢者対策を重点化し、地域での幅広い関係者の力を結集して、地域に根ざしたきめ細かい対策を講じること。雇用の質を高めるセーフティネットの構築のため、「公契約条例」の制定等の対策に取り組むこと。

## **2. 価値ある資源を最大に活かし北海道を元気にするために**

### **(1) 食産業の強化、一次産業の総合産業化**

- ・安全安心の食の供給や国内食料自給率等において北海道の農林漁業が果たす役割は大きい。食の供給や地域経済の基盤としての農山村・漁村を維持し地域の活力を引き出していくため、担い手の確保や「6次産業化」の推進をはかるとともに、定住環境を改善し、農山漁村の維持、活性化に取り組むこと。協同組合等の制度見直しには地域の実状を十分に踏まえて取り組むこと。
- ・北海道が優位性を持つ「食」や「環境」、自然エネルギーなどを活かした産業の振興による地域の活性化に取り組むこと。
- ・「フード特区」、食の安全安心施策の積極的な推進等でわが国の食を支える食産業を振興すること。
- ・漁業経営の安定に向け、資源確保や資源管理を充実すること。
- ・森林の持つ多様な機能を保持しつつ、林業・木材業の振興を図ること。

### **(2) 地域資源を活かした産業の振興**

- ・地域で生活する基盤として不可欠な小売業の衰退が著しい。小売業、商店街の活性化、地域コミ

ユニティの維持・再生への支援を強化すること。

- ・アジア、ロシア極東との経済交流を促進するための支援策を講じるとともに、海外に北海道の魅力を伝える発信を強化すること。

### (3) 交通の確保

- ・北海道新幹線の函館延伸が目の前に迫っているにも関わらず、道の対応は鈍い。青函トンネル内の新幹線と貨物列車の共用走行問題、トンネル内の安全確保策、新函館からの道内交通ネットワーク整備等の対応等の解決を急ぐこと。札幌延伸の加速に向けた財源対策、並行在来線対策等の対応を進めること。
- ・道が経営に関わりを持つようになったにもかかわらず、JR 北海道は、安全対策、日高線等をめぐって、利用者である道民との意識の乖離が見られる。輸送力確保と安全性確保の両立の観点に立った上で、経営に関わる立場から早急な対処を求めること。
- ・住民生活に必要な地方バス、離島航路・航空路等、地域における公共交通の維持、確保を支援すること。

### 3. 「脱原発」の北海道をめざして

- ・北海道は、太陽光・風力・水力・バイオマス・地熱・雪氷熱など再生可能エネルギーの宝庫である。再生可能エネルギーを活用しエネルギーの地産地消や自給率向上に向けて地域分散型の電力の利活用を、積極的に支援・育成するための措置を講ずること。風力発電等の導入拡大のために、北本連系設備を含め地域間・地域内の送電網の増強整備の加速に取り組むこと。
- ・電力に偏らない「北海道モデルの省エネ」の構築に北海道が率先して取り組むこと。
- ・北海道電力泊原子力発電所をはじめとする原発の再稼働については、東電福島第一原発事故の原因究明や、国の原子力政策に対する国民の信頼への理解と合意が得られるまで凍結すること。
- ・電源開発大間原子力発電所については、道南地域の自治体、住民の意向を踏まえ計画を抜本的に見直すべきであり、道として、まずは建設工事の凍結を求めること。

### 4. 北海道が犠牲となる TPP に断固反対

- ・米国主導の例外なき完全撤廃を原則とする TPP に参加すれば、農業をはじめ、食の安全や医療、労働等の分野に大きな影響が及び、地域の崩壊に拍車がかかる。とりわけ、北海道においては、地域を支える基幹産業である農林漁業への壊滅的打撃など、地域経済や地域社会の崩壊が危惧されている。北海道が犠牲となる TPP に断固反対し、農林漁業を守り、地域を守ること。

### 5. 道の行財政運営について

- ・国は、地方財政を圧迫するかの動きを見せているが、安定した地方財政確立に向け、国と地方の間のより一層の税財源見直しに取り組み、国に主張していくこと。
- ・税源かん養に向けた経済雇用政策の展開などで道税収入を確保すること。
- ・道の財政健全化策は、職員給与の独自縮減のみにたよるような手法ではなく、特別会計事業、天降りや関与団体等の見直しなど、道の行財政全体を抜本から見直す改革策に取り組むこと。
- ・北海道としての地域への支援施策の拡充を図ること。

以上

### (2) 会派の体制について

会派には、26 人の議員が参加。会派の役員体制、委員会配置などを以下の通り。

#### 北海道議会民主党・道民連合議員会 第 30 期前期 役員構成

- |        |               |
|--------|---------------|
| ▽ 議員会長 | 勝 部 賢 志 (江別市) |
| ▽ 副会長  | 高 橋 亨 (函館市)   |

〃	須 田 靖 子 (札幌市手稲区)
▽ 幹事長	稲 村 久 男 (空知地域)
▽ 副幹事長	笹 田 浩 (渡島地域)
〃	沖 田 清 志 (苫小牧市)
〃	小 岩 均 (北広島市)
▽ 議会対策委員長	橋 本 豊 行 (釧路市)
▽ 政策審議会長	道 下 大 樹 (札幌市西区)
▽ 政審筆頭副会長	松 山 丈 史 (札幌市豊平区)
▽ 道議会副議長	三 井 あき子 (旭川市)
▽ 道監査委員	小 林 郁 子 (札幌市中央区)
▽ 民主党道連幹事長	市 橋 修 治 (後志地域)

### 北海道議会民主党・道民連合議員会 第30期前期 委員会構成

(◎=委員長 ○=副委員長 ▽=理事・複数の場合は▼=筆頭理事)

#### <常任委員会>

総務委員会	○沖 田 清 志	▽藤 川 雅 司	市 橋 修 治
総合政策委員会	▽池 端 英 昭	勝 部 賢 志	道 下 大 樹
環境生活委員会	▽畠 山 みのり	須 田 靖 子	稲 村 久 男
保健福祉委員会	◎北 口 雄 幸	▽中 川 浩 利	小 林 郁 子
経済委員会	◎高 橋 亨	▽松 山 丈 史	星 野 高 志
農政委員会	○笹 田 浩	▽菅 原 和 忠	三 井 あき子
水産林務委員会	▽広 田 まゆみ	平 出 陽 子	三 津 丈 夫
建設委員会	▽小 岩 均	梶 谷 大 志	
文教委員会	○橋 本 豊 行	▽川 澄 宗之介	佐々木 恵美子

#### <特別委員会>

##### 産炭地域振興・エネルギー問題調査委員会

▼市 橋 修 治    ▽藤 川 雅 司    星 野 高 志    高 橋 亨

##### 北方領土対策委員会

○松 山 丈 史    ▼北 口 雄 幸    ▽中 川 浩 利    橋 本 豊 行

##### 新幹線・総合交通体系対策委員会

▼笹 田 浩    ▽菅 原 和 忠    須 田 靖 子    道 下 大 樹

##### 人口減少問題・地方分権改革等推進調査委員会

▼稲 村 久 男    ▽小 岩 均    三 津 丈 夫    勝 部 賢 志

##### 少子・高齢社会対策委員会

◎梶 谷 大 志    ▼小 林 郁 子    ▽畠 山 みのり    佐々木 恵美子

##### 食と観光対策委員会

◎広 田 まゆみ    ▼沖 田 清 志    ▽池 端 英 昭    川 澄 宗之介

#### <議会運営委員会>

○橋 本 豊 行    ▼沖 田 清 志    ▽中 川 浩 利

北海道議会民主党・道民連合議員会 第 30 期前期 政策審議会

▽会 長	道 下 大 樹			
▽筆頭副会長	松 山 丈 史			
▽委 員	池 端 英 昭	川 澄 宗之介	小 岩 均	
	菅 原 和 忠	畠 山 みのり	藤 川 雅 司	

【広報等】

\*道政報告「ゆうこう便り」の発行 2015年07月(夏号)45号

\* ホームページの開設 2007年7月開設、ブログは毎日更新中 <http://y-kitaguchi.net/>

\* FaceBook でも情報発信中 <https://www.facebook.com/profile.php?id=100005834470895>

「北口ゆうこう」奮闘日記 →

